

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年7月26日

事業所名 総合療育センター にここ通園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で利用者数が限定されているが、部屋の利用方法や順番を設定して利用している</li> <li>・部屋の広さから、感染対策を考慮した上限人数を守っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の定員は40名</li> <li>・密集しないよう活動毎に配置や動きを工夫しているが、降園時に靴箱が混雑することに対する対策を行う</li> </ul>
	② 職員配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切である。また看護師や訓練科スタッフも保育活動に参加している</li> <li>・保護者と離れて過ごす時は、安全に過ごすことができるよう訓練科スタッフや看護師、児童発達支援管理責任者を担任以外として配置している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準は満たしており、担任以外の職員もクラスや個人の状態に合わせて補助している</li> </ul>
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室は整理整頓し、不必要な物は見えない様にしている</li> <li>・視覚教材を提供出来るよう作成している</li> <li>・入口にクラス名、室内にスケジュール等視覚的な配慮を行っている</li> <li>・必要に応じて視覚的支援を行っている</li> <li>・感染対策として、時間や担当を決め換気・消毒作業を行っている</li> <li>・保護者へ手洗い、手指消毒の協力を促す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの特性に合わせた環境整備を継続する</li> <li>・教材や作製時間の充実を図る</li> </ul>
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策としてパーテーションを必要に応じて設置した</li> <li>・空調にも配慮し、その都度調整をしている</li> <li>・毎日の清掃と部分的に整理することを継続した</li> <li>・消毒や拭き上げを都度行うようにしている</li> <li>・玩具の点検、消毒を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓を常に心がける</li> <li>・消毒や清掃の継続</li> <li>・子供たちに合わせた安全な環境づくりの実施</li> <li>・毎月の安全点検の継続</li> </ul>
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画のカンファレンス、モニタリングを多職種で実施している</li> <li>・業務のマニュアル化は、年度毎に見直しを行い修正している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で意見を出し合い、PDCAサイクルによる業務改善を進めていく</li> <li>・各業務マニュアルについて全員へ周知</li> </ul>
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末にアンケートを実施し、保護者の意見、要望を把握している</li> <li>・職員全体で保護者の意向を共有し、把握している</li> <li>・保護者にはより細かに声かけを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや懇談の内容を全体で共有し改善していくことを継続する</li> </ul>
	⑦ 事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末にアンケートを実施し、保護者の意見、要望を把握している</li> <li>・アンケートを集計し、ホームページに公表している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もホームページに掲載する</li> <li>・引き続き保護者控室やホール等に書面にて開示する</li> </ul>
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価は平成19年度受審。結果を基に改善すべきところに取り組んでいる</li> <li>・市の監査や実地指導を受け、業務改善につなげている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題や改善点の確認を行い、職員への周知徹底を行う</li> </ul>
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議の中で、課題を出し合い勉強会や情報の共有を行った</li> <li>・新規採用職員への研修、月1回の職員の自主勉強会を実施している</li> <li>・内部研修を計画的に行っている。コロナ禍の為、オンラインでの研修も行っている</li> <li>・研修や勉強会でスキルアップを図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染状況を鑑み、オンライン研修への計画的な参加を今後も継続する</li> <li>・個々の職員の希望やスキルの向上に合わせ、できるだけ集合研修の機会を確保する</li> </ul>
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議を行っている</li> <li>・新規採用職員への研修、月1回の職員の自主勉強会を実施している</li> <li>・入園前や入園後に保護者のニーズの聞き取りを行い、支援計画に反映させている</li> <li>・マニュアルを作成し、児童発達支援管理責任者のもと作成を行っている</li> <li>・多職種でカンファレンスを実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援方法について、研修会の機会を確保する</li> <li>・保護者と具体的な目標を共有できる個別支援計画を作成する</li> </ul>
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士による評価結果を利用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も各職種の評価を参考にしながら継続する</li> <li>・アセスメントツールへの理解を深める</li> </ul>

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画の様式に項目を取り入れて内容を検討している</li> <li>保護者への聞き取りを丁寧に行っている</li> <li>カンファレンスやミーティングなどで課題や方針を決め、具体的な支援の内容に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への理解を促すために分かりやすい表記をするなど、伝える技術の研鑽に励む</li> <li>職員間で行うケース検討の機会に、表記についても十分に吟味する</li> </ul>
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画に沿った月の目標を立て支援し、半年に1度達成度を確認し見直しを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者へ分かりやすく具体的な取り組みの内容を伝えていく</li> </ul>
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスごとに関係スタッフと協議しながら行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの状態像を考えて作っている</li> <li>季節の行事や制作等を取り入れている</li> <li>年間及び月案計画を立て実施している</li> <li>同じプログラムでも発達に合わせた内容を検討している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の種類を増やしていくことやICT機器を活用していくことを継続する</li> <li>訓練科スタッフと協働し、保護者からの意見を取り入れながら活動を工夫していく</li> </ul>
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>集団での活動の中で子どもの状態を確認し、必要に応じて個別の対応を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も必要な対応や支援を適切に行う</li> </ul>
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>打ち合わせの時間や内容の工夫を行いながら、職員間の連携を図っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームとして内容を深める必要がある</li> </ul>
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で支援の振り返りを行い、子どもや保護者の様子、気になる点等を共有している</li> <li>保護者からの情報などを記録している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種間での情報共有の場を適宜確保していく</li> <li>今後も各職種からのフィードバックを行いお互いの知識や技術を高めていく</li> </ul>
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援の記録は、職員間の振り返り内容も記録し、情報共有や支援方法の改善に役立てている</li> <li>月毎の目標はスモールステップのチェック項目にし記録を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な情報が記載されているか、児童発達支援管理責任者を含め、職員間で確認しながら行っている</li> <li>今後も各職員が簡潔に記録できるよう改善を図りながら実施していく</li> </ul>
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>6ヶ月毎に実施し、支援計画の見直しを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	関係機関や保護	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>担任、児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて園長、看護師や訓練科スタッフが参加している</li> </ul>
㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時、関係機関との連携を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も適宜連携を行い、支援していく</li> </ul>
㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時、事業所や相談員と連携をとっている</li> <li>日頃から保護者と話す機会を作り、情報収集や共通理解に努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>当センター小児科の受診をすすめ、必要に応じて主治医との情報交換を実施している</li> <li>サポートブックを作成し、緊急時の対応方法を確認している。また、個に合わせた対応を関係者間で共有している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため、保護者の了承を得て電話にて情報共有を行った。見学は一部受け入れ可能な施設で感染予防対策を行い実施した</li> <li>児童発達支援計画書やサポートブックで引継ぎを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、感染状況を鑑みながら必要に応じて担当者会議や見学を実施していく</li> </ul>

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携	②6 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・年長児クラスについては特別支援学校教諭の見学を受け入れ、情報共有を行っている	・今後も継続する。就学後も保護者から要望があれば移行支援として関係者会議を開催する
	②7 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・学術集会や療育研修報告会等を実施している ・施設長会議を実施し、情報共有を行っている	・今後も他機関の情報収集に努め、利用者サービス向上に繋げる ・助言や研修の実態を職員間で共有する
	②8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・クラスによって地域の保育園と交流する機会を設けているが、社会状況を鑑み、昨年同様中止した	・今後も感染状況に応じて実施を検討する ・職員間で実態の共有を図る
	②9 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・現在参加していない	・当センター内の他部署が参加している。情報収集に努め、よりよい支援につなげていく ・年一回、協議内容の共有を図る
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡ノートや保護者との日々の話の中、定期的な懇談会の中で共通理解できるよう努めている	・職員間で情報の共有を図る ・今後も継続する
	③1 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・職員が説明とモデルを示し、家庭でも日常的に実践できるように伝えている ・保護者講座を実施している	・具体的な内容の取り組みの方法を保護者と共有していくことを継続する ・職員の勉強会にてケース検討を行い、内容の充実を図っていく ・職員間での共有を図る
保護者への説明責任	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・運営規定については、自由に閲覧できるようにしている ・利用者負担等は文書を渡し園長や医事職員が個別に説明を行っている	・今後も継続する
	③3 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・個人懇談時、児の状態像について共有しながら支援計画の説明を行い、同意を得ている	・今後も継続する
	③4 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・連絡ノート、電話、オンライン保育や個別での相談等ニーズに応じた対応を適宜行っている	・保護者が相談しやすい環境作りを今後も心掛けていく ・職員はオンラインや電話等、相談に応じる機会の案内を積極的に行う
	③5 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・父母の会はないが保護者の食事の際に交流の時間を確保している ・保護者講座や保育活動、クラス懇談の中で保護者同士の連携を支援している ・ネットトラブルへの注意喚起を適宜行っている	・コロナ禍での食事時間の過ごし方についてのご意見を踏まえ、時間や場の工夫を引き続き行う ・定期的なクラス懇談を継続する ・職員間での共有を図る
	③6 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・各関係職員、園長、児童発達支援管理責任者が連携して情報共有し、保護者からの相談には適切な対応ができるようにしている ・入園時、声の箱の設置の案内を行っている	・今後も相談しやすい環境づくりや迅速な対応に努めていく
	③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月園だよりを発行している ・ホームページで発信している	・今後も継続する
	③8 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報にかかわる書類は鍵のかかるキャビネットに保管している ・行動規範チェックリストを使用し、定期的に振り返りを行っている ・個人情報の取り扱いについては入園時に文書で説明し、同意書を書いている	・今後も継続する
	③9 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・視覚的に分かりやすく表示する、分かりやすい言葉で対応するなど、個に合わせた伝え方の工夫や配慮を行っている	・マスク着用のため、難聴の母や子どもへのコミュニケーション支援が課題であり、個別の対応を行っている

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年センター全体であだちまつりを開催しているが、令和2年度より感染対策のため、施設内のみでの実施となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で参加できなかった。感染状況に合わせた実施方法を検討していく</li> <li>職員間で実態の共有を図る</li> </ul>
	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルは作成済</li> <li>毎月火災訓練を実施している。その他、防犯、風水害、地震訓練も合わせて実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への周知方法を検討する</li> <li>避難訓練は、1か所に集合せず、少しずつ位置をずらしてクラス同士の距離を取るなど感染予防対策を行っている</li> </ul>
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルは作成済</li> <li>毎月想定異なる避難訓練を実施している</li> <li>月に1回以上行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の避難訓練は園だよりにて周知を行い、変更時は各クラスにて変更点を伝えて対応している</li> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>入園面接時の医療的ケアに関するスコア表やアセスメント表にて担任、看護師、園長が確認している</li> <li>クラスミーティングなどで多職種間で情報共有している</li> <li>健康面での配慮が必要なお子さんについては、保護者と関係職員でサポートブックを作成している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の診断書をもとにスタッフ間で確認し対応</li> <li>入園前のアセスメント表にて園長、看護師、担任、栄養士が確認している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続する</li> </ul>
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>通園内で毎日情報共有を行い、リスクマネジメント委員会にて報告している</li> <li>リスクマネジメント委員会にて事例集を作成し共有している。また、議事録の回覧を行い、全員で周知に勤めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター全体での事例は月毎に回覧し、周知している。通園内の事例については振り返りができるようファイルに保管している</li> </ul>
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>年に1回、全職員を対象に虐待防止に向けて研修を実施している</li> <li>定期的に職員の行動規範チェックリストにて自己評価を行い職員間で意見交換を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も継続していく</li> </ul>
④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルを策定。同意書を作成し保護者から同意を得ている</li> <li>記録をとり保護者に説明している</li> <li>カンファレンス毎に確認している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も保護者の同意が得られるよう十分な説明を行っていく</li> <li>定期的に確認を行っている</li> </ul>	
○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。					